



ペンギんぐみだより

令和8年6月26日
天沼保育園 ペンギん組

梅雨時期ですが、晴れ間も多く見られ、園庭遊びや園外への散歩などを喜び、存分に楽しんでいるペンギん組の子どもたち。今月は本格的な暑さが来る前に、散歩を通して園外での自然に触れる機会を増やしたり、戸外でのびのびと遊ぶことを楽しむ機会を増やしたりしながら生活をしてきました。また、6月からは豆苗のお世話やダンゴムシを飼うなどといった動植物に触れる機会も増えました。

今回のおたよりでは、ペンギん組の子どもたちが現在楽しんでいることをお伝えしたいと思います。

豆苗・ダンゴムシのお世話

給食のスープで豆苗を使用することがあったので、調理室から豆苗の根の部分もらい、保育室内で育てることにしました。毎朝水の交換をしたり、じっくり観察してみたりと豆苗の生長を楽しみながら関わる姿がありました。

園庭で見るアリや蝶など生き物にも少しずつ興味が出てきたペンギん組の子どもたち。その姿を受け、職員がダンゴムシを貰って来てくれてお世話をしてみることにしました。登園するとダンゴムシの様子を見に来る子や、室内にあるダンゴムシに関する資料を見て「これがママ（メス）かな？」と見比べる子も出てきました。園庭遊びの際にはダンゴムシも一緒に出て遊んだり、室内でも「おおきなこえだとダンゴムシさんがびっくりしちゃうね」と気に掛けたりとダンゴムシも立派なペンギん組の一員になりつつあります。



お散歩・園外散策



ペンギん組にダンゴムシを迎えたことをきっかけに“ダンゴムシのお家を作りたい”“ご飯を見つけたい”と子どもたちから声が上がったので、公園などの目的地を決めて行う散歩ではなく、街中を歩いて季節ならではの自然に触れる散策散歩を取り入れてみました。ダンゴムシの虫かごに入れられそうな石や葉っぱを見つけるとともにアジサイやアリ、蝶など季節ならではの動植物にも触れ、ますます自然物に興味湧いているペンギん組の子どもたち。

今後も子どもたちの興味関心を拾い上げながら、遊びへと展開していこうと思っております。

お知らせ

・7月より水遊びが始まり、水遊び期間では暑さ指数をもとに戸外での活動時間を決めております。ペンギん組での水遊びは、基本日差しが強まる前の9時30分頃から始めようと思っております。お子様の健康面、安全面の観点から、登園時間や天候によっては水遊びの活動時間が短くなったり、活動内容を変更したりすることもありますので、あらかじめご了承ください。

・水遊び期間に入ると、今まで以上に担任以外の職員が保育に入ることがあります。持ち物の所在、管理の関係から園で使用する全てのものに分かりやすく記名をしていただきますようお願いいたします。